

写

令和4年度

上里町水道事業決算審査意見書

上里町監査委員

## 1. 審査の期日

令和5年7月25日（火）

## 2. 審査の主眼

- (1) 審査に付された令和4年度上里町水道事業決算書、財務諸表、その他付属書類は適正に作成され、決算係数は会計諸帳簿と符合し正確であるか。
  - (2) 事業の経営実績と財政状態を明瞭適正に表示しているか。
  - (3) 予算の執行並びに事業の経営管理は、地方公営企業法第3条に規定される経営基本原則に基づき、適正かつ効率的に運営されているか。
- 以上に主眼をおいて審査を実施した。

## 3. 審査の方法

決算審査にあたっては、関係職員の出席を求め、決算内容について説明を聴き、また決算関係書類と総勘定元帳、関係補助簿等を照合するとともに、例月出納検査、定例監査の実施結果を参考として審査を実施した。

## 4. 経営の概要について

○業務実績について

事 項	令和4年度	令和3年度	比 較	増減率 (%)
(年度末) 給水人口 (人)	30,482	30,623	△ 141	△ 0.5
(年度末) 給水戸数 (戸)	13,403	13,210	193	1.5
年間配水量 (m <sup>3</sup> )	4,346,162	4,403,561	△ 57,399	△ 1.3
年間給水量 (m <sup>3</sup> )	3,593,225	3,638,387	△ 45,162	△ 1.2
有 収 率 (%)	82.68	82.62	0.06	

## 5. 決算報告書について

### ①収益的収入及び収益的支出

収 入

(単位:円)

区 分	予算額(A)	決算額(B)	予算額に比べ 決算額の増減額	執行率 (B)/(A)	備 考
事業収益	575,314,000	590,993,694	15,679,694	102.7%	うち仮受消費税及び地方消費税 43,150,964

支 出

(単位:円)

区 分	予算額(A)	決算額(B)	不用額	執行率 (B)/(A)	備 考
事業費	511,880,000	453,574,015	58,305,985	88.6%	うち仮受消費税及び地方消費税 18,070,840

収益的収入及び収益的支出の決算額は、予算額に比べ収入において、1,567万9,694円の増収となり、支出は5,830万5,985円の不用額を生じている。

## ②資本的収入及び資本的支出

収入

(単位:円)

区 分	予算額(A)	決算額(B)	予算額に比べ 決算額の増減額	執行率 (B)/(A)	備 考
資本的収入	225,683,000	174,287,000	△ 51,396,000	77.2%	うち仮受消費税及び地方消費税 639,815

支出

(単位:円)

区 分	予算額(A)	決算額(B)	翌年度 繰越額	不用額	執行率 (B)/(A)	備 考
資本的支出	418,171,000	370,195,962	0	47,975,038	88.5%	うち仮受消費税及び地方消費税 13,069,181

資本的収入及び資本的支出の決算額は、予算額に比べ収入において5,139万6,000円の減収となり、支出は4,797万5,038円の不用額を生じている。

## ③経営状況について(税抜)

・収益的収入の主なものは

- 営業収益では、水道料金(メーター使用料を含む)3億9,410万6,025円である。
- 営業外収益では、一般会計補助金6,113万8,375円であり、主なものは新型コロナウイルス感染症水道料金一部減免事業に伴う補助分5,978万5,375円であった。

・収益的支出の主なものは

- 営業費用では減価償却費1億7,509万4,604円、原水費及び浄水費1億1,218万90円である。
- 営業外費用では、企業債利息1,757万5,189円である。

この結果、事業収益は5億4,419万3,869円で、事業費用は4億1,926万5,613円となっている。

## 6. 審査の結果

審査に付された決算書、財務諸表及び付属書類は、いずれも関係法令に準拠されて作成されており、計数も会計諸帳簿と符合し正確であり、令和5年3月31日現在における財政状況を適切に表示しているものと認められた。

事業決算としては、事業収益が5億9,099万4千円に対し、事業支出が4億5,357万4千円となっている。

また、損益計算としては、純利益が1億2,492万8千円生じており、前年度繰越利益剰余金の7,959万4千円、その他未処分利益剰余金変動額3,636万7千円と併せると、当年度未処分利益剰余金は2億4,088万9千円となっている。

償還金と償還原資のバランスについては、企業債の残高は12億3,765万2千円であり、この償還原資は有形固定資産等の30億564万1千円となっている。当該事業年度においては企業債償還額2億2,503万2千円に対して減価償却費等は1億2,478万1千円となっている。

水道事業はここ数年黒字経営を継続しているが、一般家庭の節水意識の高まりや、大口需要

の低下などにより給水収益は減少傾向であったが、今年度の料金改定により増加となった。しかし、老朽管の更新工事や浄水場の更新などの時期を迎え、改修費用の増加が見込まれることから、水道事業の経営状況は依然として厳しいと思われる。引き続き安定供給の確保や、給水サービスの向上を図りつつ、維持管理費の節減に努めながら経営努力をお願いしたい。

また、令和5年度から5か年計画での浄水場の更新計画や老朽管更新や基幹管路の耐震化については、十分な財源確保を含め合理的な事業計画の策定をお願いしたい。

安全な水の安定供給は、町民の生活と産業活動を支えるため欠かせないものである。今後も長期的な財政見通しに立って、安定的な水道水の供給及び健全経営の維持にご尽力願いたい。